

9月の例会はイラクの「亀も空を飛ぶ」

4周年記念上映会は無事終了！

例会午前の部は11月まで？

例会のお知らせ



荒れ果てた大地に 明日の世界を見た 少年少女がいる。
2003年3月、米軍によるイラク侵攻が開始され、国境の小さな村に運命の時が訪れる。
イラク・クルディスタンを舞台とした21世紀の叙事詩

名称 / 第26回例会 「亀も空を飛ぶ」

日時 / 2006年9月14日(木) AM10:30～、PM1:30～、PM4:00～、PM6:40～(は試行、時間注意)

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

タイトル / 亀も空を飛ぶ

監督・脚本 / バフマン・ゴバディ

出演 / ソラン・エブラヒム、ヒラシュ・ファシル・ラーマン、アワズ・ラティフ、アブドルラーマン・キャリム、サダムホセイン・ファイサル、アジル・ジバリ

データ / 2004年、イラク、イラン、カラー、1時間37分、35mm、

ジャンル / ドラマ、戦争イ

解説(オフィシャルサイトより)

世界の誰も、ボクらのことは分からない。

米軍のイラク侵攻前夜。イラク北部クルディスタンで始まる子どもたちの物語

戦争で荒廃した大地にたくましく生きる子どもたちと、彼らが経験する出来事を、リアリズムと幻想

を混在させた力強いタッチで描いた、イランのクルド人監督バフマン・ゴバディの最新作。2003年3月に始まったアメリカ軍のイラク侵攻を背景に、ニュース映像では知ることの出来ないイラクの悲痛な現状を映し出しながら、ユーモアを忘れない温かいまなざしと、マジック・リアリズムの手法で、見る者を魅了していく。

4周年記念上映会の報告

8月9日に加古川市民会館中ホールで、4周年記念事業として「^{ふたりびより}二人日和」の上映会を行いました。酷暑の中、約630人にご来場いただき、無事に終了することができました。ありがとうございました。



会場には、主演の栗塚旭さんをお招きし、楽しいひとときを過ごしました。

栗塚さんには、新幹線の姫路駅から会員の車でお迎えに行ったのですが、予期せぬ大渋滞のため、到着が1時間以上遅れてしまいました。おかげで、ゲストトークの開始が25分遅れてしまい、会場の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

加古川シネマクラブを発足したときは、大きな会場一般を対象とした上映会を行い、ゲストをお招きするというのは、ひとつの目標でもあったので、この上映会に関わった皆さんは、安堵するとともに満足感も得られたと思います。

また、この上映会にあたっては、文化庁の日本映画上映支援の補助事業に申請し採択されたので、ある程度の赤字分には補助金が充てることが出来ます。これだけの来場者があれば、会からの持ち出しもほとんどなく、会の運営に経済的な影響はありませんので、ご安心ください

例会選定会議の報告

7月25日に、来年1月以降の例会作品の候補を選定するために例会選定会議を行いました。いつものように、推薦作品を出し合い、日本、アジア、欧米に分類し、絞り込んでいきました。

日本映画では、田中裕子と岸部一徳が夫婦を演じる「いつか読書する日」と、新鋭・西川美和監督、オダギリジョーと香川照之主演のサスペンス「ゆれる」、が有力でした。その他、「泥の河」、「榎山節考」、「うなぎ」などが候補にあがりました。前2作が強く推されました。

アジア映画は、文革によって断たれた画家の夢を息子に託す父親と、反発しながらも同じ道を歩み始める息子を描いたチャン・ヤン監督の「フートのひまわり」、9歳の少年が兄の闘病に、戸惑い、悩みながらも成長していく姿を描いた韓国の感動作「奇跡の夏」が有力でした。その他、各国の作品名は出のですが、韓国と中国の作品を凌ぐものは無かったです。

欧米映画は、アフリカルワンダの民族対立による大量虐殺事件を舞台にする戦争サスペンスヒューマンドラマ「ホテル・ルワンダ」、ヒトラー政権に立ち向かった二十一歳の女性を描いた「白バラの祈り ソフィー・ショル、最期の日々」、エルサルバドルの内戦下で徴兵される12歳の少年を描いた「イノセント・ボイス 12歳の戦場」などの戦時下を描いた秀作が候補としてあがりました。また、人の心を癒す不思議な魅力をもつ男「光の旅人 K-PAX」、1950年代アメリカで時の権力に敢然と立ち向かった国民的ニュースキャスターを描いた「グッドナイト&グッドラック」などアメリカの作品、北極の映像が美しい「ホワイト・プラネット」、金獅子賞受賞のロシアの感動作「父、帰る」など、次々に候補があがりました。

その結果、2006年1月は「フートのひまわり」、3月は「いつか読書する日」、5月は欧米作品の中からフィルム使用の条件などを考慮して決定することになりました。

前回例会の報告

7月14日の例会では、「ウォルター少年と、夏の休日」を鑑賞しました。参加会員133人。

少年と謎めいた過去を持つ2人の頑固なおじいさんのひと夏の心温まる交流をファンタジックに描いたヒューマン・ドラマでした。主演のハーレイ・ジョエル・オスメント君、そして、マイケル・ケインとロバート・デュヴァルという名優2人が演じた偏屈

な爺さんも実に良い味を出していました。

参加者の感想(抜粋)

「3人の名優のオンパレード」、「ロマンと後味の良さがハッピーな気持ちにさせてくれた」、「子供と母親の関係も考えさせられた」、「久々に楽しかった」、「とても良かった」

例会開始時間の試行経過

例会の開始時間については、PM2:00～、PM4:20～、PM6:40～として行ってきましたが、新しい会員の入会を促進するために、3月例会から「AM10:30～」を試行しました。

しかし、3月、5月、7月の例会では、参加者数と会員数ともにほとんど変化は無く、今までのPM2:00～の参加者が、AM10:30～とPM2:00～に別れただけの結果となっています。

このままでは、例会を開催するたびに、赤字が増えることとなります。運営委員会で話し合った結果、9月例会で、215人の会員数に達しなければ、1月例会からは、試行している午前の部を取りやめ、今年1月までのPM2:00～、PM4:20～、PM6:40～という3回の状態に戻すことにしましたのでお知らせします。

これにより、午前の部しか参加できない方については、誠に申し訳ありませんが、会の活動継続のため、やむを得ない判断ですので、どうぞご容赦ください。中には退会を考える方もいると思いますが、11月例会までは、午前の部は続けますので、そのときまでにご留意ください。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。



栗塚旭さん色紙

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 186人(7月14日現在)